

I 現状の課題及び中期的な対応方針

<p>(1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項</p> <p>バリアフリールートについては全駅で1ルート整備を達成しているが、内方線の整備については、全24駅中6駅（うち乗降客数1万人以上1駅）で未整備となっていることから、今後ホームの嵩上げ工事と併せ、年に1駅ずつ整備を進めていく予定である。</p> <p>車両については、車いすスペースのない車両が全26編成中2編成残っており、内1編成を今年度、残り1編成については2021年度に更新を予定している。</p>
<p>(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項</p> <p>旅客支援については、車いすをご利用のお客様が列車乗降する渡り板を全駅に配備しており、引き続き駅係員によるご案内を実施するほか、お客様へのお声かけを積極的に行い、誰もが利用しやすい環境づくりを推進する。</p> <p>情報提供については、駅施設や列車運行に関する情報を、よりわかりやすく提供するため、当社公式Webサイトやスマートフォン向け公式アプリ「新京成線アプリ」のリニューアル・拡充を行う。</p> <p>教育訓練については、駅係員のサービス介助士資格の取得率は2019年5月時点で約86%であり、引き続き未取得者への取得を推進し、取得率100%を目指す。</p>

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
前原駅	<ul style="list-style-type: none"> ホーム嵩上げに伴い、内方線付き JIS 規格化点状ブロックを設置する。(2019～2020年度) 多機能トイレを新設する。(2019年度)
80000形車両	<ul style="list-style-type: none"> 新型車両80000形を1編成導入する。(2019年度)

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
声かけサポート運動の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 係員からの声かけを積極的に実施し、必要に応じて誘導案内等の支援を行う。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
駅構内での自動音声案内の実施	・前原駅において、自動音声によりトイレ等の場所を案内できる設備を設ける。(2019年度)
当社 Web サイトおよび「新京成線アプリ」の拡充	・当社公式 Web サイトについて、掲載情報の拡充等を適宜実施し、わかりやすい情報提供を図る。(2019年度～2020年度) ・稼動中の当社公式スマートフォン向けアプリ「新京成線アプリ」について、アップデートを実施し、利便性向上を図る。(2019年度)

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
接客研修の実施 接客教習の実施	・京成グループにて、BMK接客研修を実施している。 ・新入社員に対して京成グループで作製した接客マニュアルを使用した接客教習を実施している。
サービス介助士資格取得の推進	・新入社員をはじめとした駅係員を対象に、未取得者の資格取得を推進する。(2019年度)

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・「声かけサポート運動」を継続実施し、係員からの声かけを強化するとともに、利用者への理解・協力を求めることで、利用しやすい環境整備を図る。 ・バリアフリー化整備を促進するため、補助制度の活用等について関係各署との協議を継続して行う。
